

新たな海の救急車

救急艇『うみねこ』就航

市内の島しょ部で暮らす人々の安全・安心を守るため、上島町から譲り受けた救急艇「かみじま」が新たに救急艇「うみねこ」として就航することとなり、7月19日に就航式が行われま



就航式でのテープカットの様子

野志市長は「うみねこの就航により、24時間365日の運航体制を確保するとともに、消防職員の練習艇としても活用し、島しょ部沿岸部のより一層の安全確保に努める」と今後の消防防災力の一層の充実を図る考えを述べました。

上村町長は「19年経っている船だがこれまでしっかりと整備・点検を行ってきた。どこに出しても恥ずかしくない船。松山市での活躍を期待している」と激励しました。

今後、「うみねこ」は既存の救急艇「はやぶさ」と共に活躍します。

消防防課 ☎ 926 9 2 3 3
FAX 926 9 1 8 8

生誕記念の年へ向け

『夏目漱石をゆかりとした歴史・文化及び観光交流に関する協定』を締結



野志市長と吉住区長(右)

小説『坊っちゃん』の舞台である本市と漱石の生誕・最期の地である新宿区。夏目漱石と深いゆかりのある両市区間で今年から約4年間、夏目漱石松山赴任120年(2015年)や小説『坊っちゃん』発刊10年(2016年)、夏

目漱石・正岡子規生誕150年(2017年)など、連続して記念の年を迎えることを見据え、7月13日に協定を締結しました。

吉住新宿区長は「松山市は地域が一体となって漱石を顕彰している。交流の絆を一層発展させたい」、野志市長は「世界に目を向けた漱石や子規にならない、力を合わせて国内外の注目を集めていきたい」と意気込みを述べました。

今後は共同プロモーションや合同事業の実施など、連携した取り組みを予定しています。

観光・国際交流課 ☎ 948 6 5 5 8
FAX 943 9 0 0 1

平成27年上半年

火災・救急統計

火災件数66件

救急出場1万1913件

前年と比べると27件減少しています。これは、約27日に1件の割合で火災が発生したことになります。

前年と比べると157件減少しています。また搬送人員は1万1109人(前年比47人減)で、1日平均65・8件、約21分53秒に1回の割合で救急隊が出場し、市民46人に一人が搬送されたことになりました。

【出火原因】「こんろ」が13件(19・7割)、「たき火」が11件(16・7割)、「たばこ」が8件(12・1割)、「放火」「放火の疑い」がそれぞれ5件(7・6割)の順となり、この5種で全体の約64割を占めています。また、「放火」と「放火の疑い」を合わせると10件(15・2割)となり、比較的高い割合を占めています。

【火災による死傷者】死者は3人(前年比4人減)、負傷者は10人(前年比25人減)となっています。

【事故種別】救急出場件数を事故種別ごとに見ると、「急病」が7476件、「一般負傷」が1540件、「交通事故」が1345件となっており、この3種で全体の約87割を占めます。

道後の将来を共に考える

「道後温泉活性化フォーラム」外湯文化を受け継ぐおもてなしの環



道後の魅力を熱く語る担い手

道後温泉が次の百年も輝き続けるため、「道後の活性化計画」や「新たな温泉施設の建設」をテーマにしたフォーラムが7月14日、愛媛大学で開催されました。

基調講演は、東京大学大学院の羽藤英一教授による「外湯文化を受け継ぐ道後のまちづくりに向けて」と題して行われました。羽藤教授は、「今生きる人たちがどのように道後の街の文化を受け継ぐかが重要」と提言。

シンポジウムの第1部では、道後のにぎわいづくりに携わる若手が道後の魅力について意見を述べ合い、

道後商店街振興組合青年部長の石田さんは「町おこしは“人おこし”。人の意識が“おきた”時、町は“おき”、“にぎわう”と力強く語りました。

第2部は、羽藤教授をコーディネーターに、日本を代表する建築家の内藤廣さんと野志市長が、道後温泉の活性化に向けた考えや新たな温泉施設の建設について紹介。内藤さんのアドバイスをもとに設計された新しい温泉施設の完成予想図も今回初めて披露。飛鳥時代の湯屋をイメージした造りとなっており、内藤さんは「道後には多くの物



道後の将来について語る野志市長

語が詰まっている。新たな温泉施設を新たな物語を紡ぎ出すきっかけにしてほしい」と期待を寄せました。

これに対し、野志市長は「道後温泉は日本の伝統文化が凝縮されている観光温泉地。将来を見据え、いい松山・道後をつくってほしいので皆さんには力を貸してほしい」と話しました。

体験セミナー参加者募集▶9月18日(金)まで プロテイン・アイランド・松山国際シンポジウム2015

タンパク質を自由に合成し、医療分野などに応用する技術(遠藤弥重太 愛媛大学特別栄誉教授開発)の情報発信を目的とした一般向け体験セミナーを開催します。普段触れることのできない先端技術をあなたも体感してみませんか。

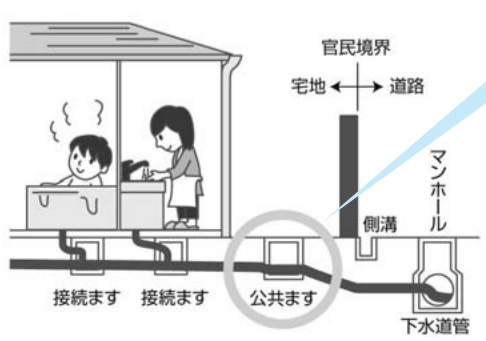
日時 10月3日(土)13時~16時30分



実験に熱中する参加者

会場 総合コミュニティセンター(湊町七丁目) 3階大会議室
内容 タンパク質に関する講演、試験管の中でタンパク質を作ったり電気泳動でDNAを分析したりする実験
対象 実験や講演に興味がある人(中学・高校生優先)
定員 150人(先着順。うち実験100人)
申し込み 9月18日(金)までに、ファクスまたはホームページhttp://www.pim-sympo.jp/で申込書(市ホームページにあり)を地域経済課へ
〒地域経済課 ☎ 948-6710・FAX 934-1844

※申請できるのは下水道処理区域内にあり、汚水と雨水を別々に排水できる箇所です。▼平成25年度に完成した工事の中にも申請により設置できる場合があります。▼詳細はお問い合わせください



下水道整備課 ☎ 948 6 4 5
FAX 934 0 6 7 0